

月刊田中けんの感想などをお寄せください。その中から匿名にて紹介いたします。いただいた文章は、紙面の都合上、任意で編集してから掲載することもあります。事前に、ご了承ください。

ご連絡は、e-mail・封筒・ハガキで受け付けます。FAX対応はしておりませんので、ご注意ください。率直な御意見、お待ちしております。

弁護士による無料法律相談を受付中

詳しくは、田中けん事務所までお問い合わせ下さい。

田中けんの活動

江戸川区議会に対して 1人会派の待遇改善を要求!!

一人会派の待遇改善を求める申入書

私たちはこれまでの一年間、それぞれ一人会派として、江戸川区議会の中で活動してまいりました。私たちは改選後、召集された四回の本会議の中で、のべ四回の一般質問を行なってまいりました。この経験から、現在、私たちに配分されている10分という質問時間では、十分な質問ができないということがわかりました。質問項目は実質的に一つか二つしか取り上げることができません。また、二つ取り上げた場合には、会議規則第54条に保障されております第二質問、第三質問を行なうことができません。そのため、質問を重ねることで区長とやりとりすることが非常に難しい状況です。

会派単位による質問時間の設定が、議員一人あたりの持ち時間に構成人数を掛けることで、概ね平等に算出されている事情は理解しております。しかし、実際には構成議員の全員が質問するわけではなく、会派規模の大小に拘わらず、どこでも質問時間には20分前後を想定し、各会派から毎回二人ないしは三人の質問者を代表としてたてているのが現実であろうかと思われまます。こうした現況に鑑み、私たちは下記の点について申し入れをさせていただくことにした次第です。

ご承知の通り、私たち一人会派は、議会運営委員会において意見を述べる機会がありませんので、このような文書にて申し入れをさせていただきました。以下の記書きの件につきまして、なにとぞご理解くださいますようお願い申し上げます。まことに勝手ではございますが、次期定例会の開催までに、ご回答をいただければ幸いに存じます。

記

一回の質問時間として、せめて15分以上をお認めいただけないでしょうか。もし、他会派とのバランス上、現行ではそれが難しいということでしたら、一般質問の日程を3日間にするなど、質問時間全体の増加を図ることによって、改善していただくことをご検討していただけないでしょうか。

以上

江戸川区議会議員 八武崎一郎 殿

一人の会 田中けん
無所属クラブ 木村長人



3月17日(水) 本会議最終日のこの日、八武崎一郎議長に対して、1人会派の待遇改善に関する申入書を提出しました。左は、申入書の全文です。

今回は、質問時間の延長に関してのみの申入書となりました。今後は、区議会だよりにおける1人会派の取り扱いをもっと大きくして欲しいなどの要望も、順次、議会関係者にはお伝えしたいと思っています。

私は、1人会派の議員であっても、区民から選ばれて議員となった以上、他の多数会派の議員と変わることなく、議会で活動できるように改善を求めてゆきます。

たった1人であることから、議会運営委員会という議会の運営、進行に関わる会議にも出席できませんが、常に有権者に顔をむけ、御意見を頂戴し、報告をしながら、共に歩む議員活動をめざします。

何事も実現には時間がかかるものですが、声を出すことから始めなければ、何も変わることはありません。

より良き議会運営につきましても、区民の皆様方から興味関心を頂戴したく、ここにご報告申し上げます。



今年度より、江戸川区議会のホームページから、一般質問が読めるようになりました。

<http://edogawakugikai.gijiroku.com/VOICES/index.html>
「月刊田中けん」では、紙面の都合上、質問および回答は若干の編集をほどこしてあります。

障害者や働きたい女性の雇用を増やします

入札制度の見直しについて

現在の政治的テーマは「民間にできることは民間にやらせよう」ということです。これ即ち、民間に任せて、役所は手を引くということです。江戸川区でも、まだまだ民間委託できる事業がたくさんあります。私は徹底した民間委託を推進する立場にありますから、区長が進める民間委託の方向性を支持しつつも、その取り組みが遅い、その取り組みが徹底していないという注文を議会の内外で言い続けてきました。

民間委託されるとは言え、これまで行政が行ってきた業務を引き継ぐのですから、そこには高度な社会性が求められます。

先般、世間を騒がした雪印食品による食肉偽装表示事件などは、「道徳なき商業」の一例です。目先の利潤を追求するあまり、組織犯罪にまで手を染めてしまう企業は、大中小と企業の規模に関係なく存在します。犯罪は論外ですが、社会的貢献度が低い企業と役所が関わりを持つことは避けるべきです。

今回の質問で、「入札における企業格付け時の基準」を取り上げた背景には、民間への業務委託が進む中で、民間企業が失敗しやすい「利潤追求第一主義」に役所が荷担してはならないと考えるからです。

江戸川区が障害者を積極的に雇用してきたことや、ISOを取得した企業に対して入札を有利にする配慮を私は評価しています。このような労働条件や環境に配慮する姿勢は、役所がこれまで果たしてきた成果です。公務だからこそ実現できた、このように社会性の向上を追求する試みは、今後、入札によって、役所から仕事を受ける民間企業にも受け継がれるべき試みのはずです。入札に参加して欲しい民間企業の例を次にあげてみましょう。

- ◆障害者を積極的に雇っている企業。
- ◆家庭と仕事の両立のため、半日出勤を長期間にわたり認めている企業。
- ◆サービス残業をさせない企業。
- ◆企業内保育を導入している企業。
- ◆区が主催する行事に対して、積極的なボランティアを引き受けてくれる企業。
- ◆環境に配慮した企業。

重要なのは、入札情報の公開と基準を明らかにすることです。情報を徹底して公開すれば、入札時の不正が入り込む余地はありません。

これからの江戸川区においては、社会的貢献度が高い企業に対して、仕事を発注することで、企業倫理の育成を支援していただきたいのです。そのために、新しい「入札における企業格付け時の基準」を設置し、それを明確にした上で、民間委託を拡大して欲しいと願います。

区長の回答

この問題はまことに同感です。この数年間、契約のあり方を大きく変革してまいりました。入札時における不明朗な問題を解消する方向で、様々な取り組みを行いました。引きかえに、企業の評価をしっかりと、成果が十分に期待できる事を前提に、機会の公平を提供して行きます。さらに色々な手だてを講じる必要がありますが、企業の社会貢献度も企業体質として評価の対象にする必要があると思います。具体化する過程では様々な課題がありますが、そういった方向で研究をしていきたいと思っております。

このままでは、多くの江戸川区民が死にます

人口問題について

区長はこれからも、「江戸川区の人口が増え続ける」という予想を肯定されました。「2020年に江戸川区の人口は70万人になる」との予想は、野村総研の予想なのだという根拠も示されました。確かにその予想は、残念ながら当たるとは思えません。しかし、それは区長がこの問題に対して、何もしなかった、つまり無策だったときの話です。

既に進んだ考えを持つ江戸川区民は、人口が増えることを歓迎していません。小松川では、子どもが増えすぎて学校の教室が足りません。それにも関わらず、まだマンション建設が続いて、学校が子どもを受け入れられなくなっています。今まで余裕としてあった空き教室や図書室を潰し、なんとか対応している実態を聞くと、子どもが増えすぎることが、逆に教育環境の低下を招いているのだと知りました。

本区は人口増を容認しているため、学校・病院・公園・道路などの社会資本の整備が追いついていません。これでは、ますます区民が住みにくくなります。「住みやすい江戸川区」とおっしゃる区長の耳には、過密による区民の苦しみや悲しみが届かないのでしょうか。

今、区内最大の問題である犯罪の増加についても、過密人口を解消しない限り、対策は徒労に終わるでしょう。2020年に江戸川区が70万人を迎えるまで、江戸川区の犯罪発生数が、23区の中で一番であり続けるかもしれないと私は予測します。

区長は「人口が増えることは、良い面と悪い面がある」とおっしゃいました。悪い面があると知っていながら、なぜこれまで、人口増加ばかりを許容し続けてきたのか、その理由もお聞かせください。

区長の回答

単純に、人口が増えることによる是非論はあると思います。今、江戸川区は若年層の転入が多く、これは熟年世代がどんどん増えるより良いと言わなければなりません。活力のある世代が増えるということは、担税力などを考えてみれば行政需要が増えて負担を負う反面、地域の中で消費行動が活発になり、街がにぎわうなどのメリットも生まれてきます。そういった比較考量の中でどうすればいいのかを考えていくべきだと私は考えます。教育環境や犯罪問題に対しても様々な考えがあり、条件をいかにしてプラスにするかという思想こそが大切であると考えます。

近い将来、江戸川区の人口が増え、日本人全体は減る(2100年の日本の人口は、現在の半分にあたる6,000万人以下)ということは、更に東京一極集中が激しくなることを意味します。今でも過密が問題なのに、更に過密化して、大震災の時、東京は本当に大丈夫なのでしょうか。過密都市東京が、震災時にどれだけ危険な場所であるかは、議論の余地がありません。いつか起こる震災時に、東京で死ぬため、人々が集まっているわけではないのです。

しかし、現実には、そのときに東京で多くの人が死にます。江戸川区でも多くの人が死にます。過密であれば、過密であるだけ、多くの人が死ぬのです。この認識は間違っていますか。日本全体から見て、東京集中という偏った国土利用で本当に良いのでしょうか。

区長の回答

流入人口を行政の力でどの程度とめ得るかということ、規制が強力な手だてにはなり得ません。もし一極集中をしたとしても、災害に強い東京をその時まで鋭意つくりあげていく。その時の条件や国民の選択の中で、いかに最善のものを構築していくのかということが政治や行政のあり方だと考えています。

平成16年4月15日付の城東タイムズで田中けんの一般質問が取り上げられました。

**社会貢献度も入札資格に
議員提案に区長賛成
江戸川区議会**

先週、江戸川区議会議員として、議員提案したところ、区長も賛成し、区議会でも採択された。これは、江戸川区の企業に、社会貢献度の高い企業を優先して入札させるという内容だ。区長も賛成し、区議会でも採択された。これは、江戸川区の企業に、社会貢献度の高い企業を優先して入札させるという内容だ。

平成16年4月20日付の区議会だよりでも、田中けんの一般質問は掲載されています。

障害者や女性の雇用機会を増やす民間委託

田中 けん
一人の会

「入札における企業格付け時の基準」に障害者や女性の雇用などの社会貢献度の項目を設け、貢献度の高い企業に優先的な発注を。評価対象にすることも必要。研究したい。

読者からのお便り

田中けん 先生
月刊 vol.10
ですが、長寿対保金(6億余)は除くべきです。
区長、財団等の4年後の退職金を公表して除くべきです。(4千億円等)ハカバオしく、選挙にも行ってほしいのです。
一頁権者 0/01

「月刊田中けんvol.10」をお読みになった方々より頂きました御手紙とメールを紹介致します。

「田中けん」のエッセイvol.006」読ませて頂きました。政治家を辞めるわけにもいかないでしょうが、エッセイになっても良いのではないのでしょうか。

「月刊田中けん」Vol. 10 拝読しました。
実は小生、葛飾区民ですが、江戸川区の図書館を利用しております。Vol. 10を拝見しますと月曜日の開館とか、日・祝日の時間延長実現とか、まるで、小生のために活躍して下さっている感じさえいたします。特に「図書館運営を民間に委託すること。」というは非常に魅力的です。

御承知かもしれませんが、葛飾区の図書館は今年からようやく機械化しました。小生も利用者の一人として、若干の提言をしましたが、少なくとも検索システム一つだけ取ってみても残念ですが、江戸川区より優れているようには思われません。読みたい本が無い事も多いです。以前は江東区に長く住んでいましたが、そこでは、購入希望を出しておきますと購入してくれて、本が入りましたら連絡までしてくれていました。江戸川区では如何でしょうか。参考までにお伺いさせていただきます。

政治の道も大変でしょうが、市民に声を届けるという事が大切でしょうから、頑張ってください。

わたしの友人で菅原一秀という男がいますが、彼は商社を辞めて不動産事業で失敗し、政治の道を目指し、都議会議員を経て今年の衆議院選挙で自民党から国会議員に当選しました。彼は千回以上も練馬等の駅で演説を続けたそうです。最初の演説のことはいまでも忘れられないと言っていました。

元の会社の上司で吉良州司という方がいますが、彼は大分知事選に出馬し、落選しましたが、その過程で地域の支持を得て今年の衆議院選挙で民主党から出馬し、当選しました。

田中さんもお若いでしょうし、馬力もあるでしょうから、さらに見聞を広めて「良い」政治家になるべく頑張ってください。今後とも影ながら応援させていただきます

今朝、船堀駅前「月刊田中けん Vol.10」をいただきました、男性サラリーマン(32歳)です。

エッセイの「政治家の嘘」、面白く読ませていただきました。結論には大賛成です。政治家に騙されたから政治不信などと言っているマスコミにはうんざりしていました。嘘を見抜けず投票するな、と常日頃から考えておりました。

ただ、嘘つきを議員に選ぶのは当然と言ってしまうと、議員という職業をそれなりに尊敬し重視している人々にとってはなかなか肯定できない意見となってしまいますね。

そして、日本とは、嘘が「求められる」社会なのだ。は、誤りだと思えます。日本だけでなく世界中どこであっても「嘘が「求められる」社会」なのではないでしょうか。嘘にも色々あります。自分の信念を実現するための嘘、私利私欲を図るための嘘、他人を傷つける嘘、他人を幸せにする嘘、などなど。生活が保障され、当選が保証されているような人は、私利私欲を図るために嘘をつくかもしれません。完璧に国民を騙した、巧妙な嘘を許容すべきでもありません。また貧乏議員は、嘘をつかないから貧乏なのではなく、政治活動に真面目に取り組んでいるから貧乏なのかもしれません。

結論は大賛成ですし、好感を持ちました。ただそこに至るまでの文章に、ちょっと違うんでないの、と思うところがありましたので、メールいたしました。

なお、議員は、「有権者へ片思いをしている人」になるべきではないと思えます。おれが気に入らないんだったらテメエなんか知らねえよ、くらいの気概を持って欲しい。それくらいの信念を持った議員さんになってください。そうすれば、他人を幸せにする嘘も自然と思いつくのではないのでしょうか。

次のエッセイは、文章をもう少し練っていただければ良いかもしれません。今回のエッセイも「嘘」、だったりしますか？ 議員活動、がんばってください。失礼いたします。

選挙の応援に行きました



3月21日(日)告示の福岡県飯塚市議会議員選挙で、小川まさのり候補の応援に行ってきました。
<http://www.ogawamasanori.com/>
初日はポスター貼りを、二日目は候補者と一緒に車に乗り、マイクを握りました。結局、32人中31番目となり、小川候補は落選しました。

田中けんの写真日記

**江戸川倶楽部主催
お花見の報告**

4月5日(月)18:00より行船公園・源心庵にてお花見会を行いました。参加者は2名でした。



夜桜をバックに



ライトアップされて見事な夜桜

お花見に参加しました



4月4日(日)11:00より、中央商店街主催のお花見に参加しました。

入学式に臨席しました



4月7日(水) 松江第三中学校の入学式に臨席しました。



さぬきうどんで有名な四国の香川県に渡りました。写真は、有名な製麺所前での写真です。このうどん屋さんには、11:30~12:30までのたった1時間しか開店していません。メニューは、量が一玉100円、二玉200円、三玉300円の三種類。質は、温かいか、冷たいかの二種類。これだけです。格安のうどんを食べに多くの観光客が来るそうです。

江戸川倶楽部主催 イベントのご案内

対話集会

田中けんと語る区民集会

■日時 **5/22 (土)** 午後1時30分～3時30分
 ■場所 篠崎コミュニティーホール 第3集会室
 ■参加費 無料

江戸川区篠崎町7-27-1 交通会館篠崎ビル5階
 電話 03-3698-8861

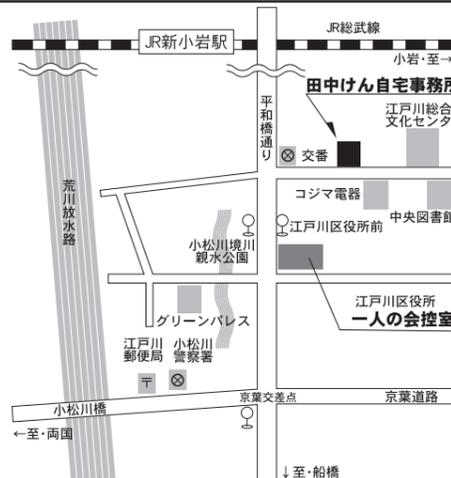


花火大会

花火大会観覧

■日時 **5/29 (土)** 午後1時集合 午後7時開始
 ■集合 田中けん自宅前 (乗用車にて移動します) 江戸川区中央4-25-14
 ■観覧所 栃木県鹿沼市 黒川湖畔
 ■参加費 2,000円

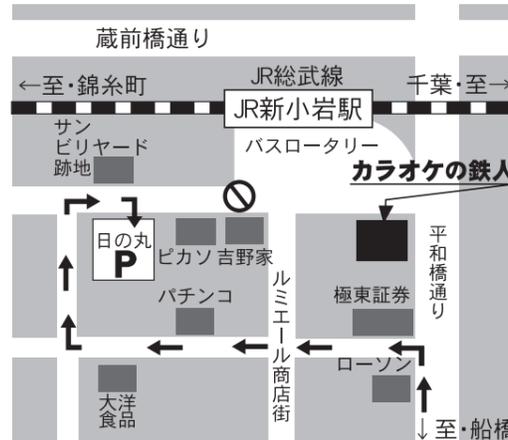
◆車移動のため、参加人数が制限されます。
 ご参加希望の方は、お早めにご連絡下さい。
 (雨天中止もあります。ご了承ください)



カラオケ大会

■日時 **6/6 (日)** 午後12時30分～午後5時
 ■場所 カラオケの鉄人 新小岩店317号室
 ■参加費 1,500円

◆ソフトドリンク飲み放題。アルコール・お食事については各自による別会計でお願いします。
 ◆当日、室内は禁煙とさせていただきます。ご協力お願いいたします。



上記イベントへのご参加・お問い合わせは **江戸川倶楽部 電話: 03-5662-7755** または **E-mail: club@t-ken.jp** まで

※参加希望の方は、事前のご連絡をよろしくお願い致します。

以降の予定

対話集会	6/12 (土)	17時～19時	葛西区民館 第3集会室	無料
対話集会	6/20 (日)	13時～16時	南小岩コミュニティー会館 第1集会室	無料
対話集会	7/31 (土)	13時～16時	東部区民館 集会室さくら	無料
対話集会	8/1 (日)	13時～16時	新田コミュニティー会館 第1集会室	無料

集会の報告

4/3 (土)	ランチ会合	参加者2名
4/5 (月)	お花見	参加者2名
4/18 (日)	対話集会	参加者3名

東京ねっとわーく5月勉強会のご案内

東京ねっとわーくは、党派を超えた政策研究グループです。東京の地方議員を中心に運営されています。東京以外の地方議員であっても、議員でない方も参加できます。ただし、その場合は、事前にご連絡ください。勉強会は、参加費無料が原則です。お気軽にご参加できます。

■日程	2004年5月14日(金) 14時45分現地集合
■講演	最新モバイル技術について
■内容	第1部 15時～17時半 勉強会 第2部 懇親会時～
■会場	NTTドコモ本社 〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワーNTTドコモ本社 受付集合
■参加費	無料。(ただし、会議終了後、希望者のみ懇親会にて、割り勘による実費負担あり)
■申込み	5月10日(日)必着 FAXにて返送してください
■主催	党派を超えた政策研究グループ 東京ねっとわーく 代表 吉田つとむ(町田市議会議員)

参加ご希望の方は田中けん事務所までお問い合わせ下さい

高速道路を無料にしよう!

江戸川区議会議員

田中けん

自宅事務所

〒132-0021 江戸川区中央4-25-14

電話 03-5662-7755

E-mail info@t-ken.jp



プロフィール

1966年1月6日 江戸川区生まれ
 第三松江小学校卒 松江第三中学校卒 墨田川高校卒 千葉大学教育学部卒
 1995年4月 江戸川区議会議員選挙当選(2,789票・41位)
 1999年4月 江戸川区議会議員選挙当選(4,282票・16位)
 2001年6月 東京都議会議員選挙落選(12,394票・8位)
 2003年4月 江戸川区議会議員選挙当選(4,103票・15位)
 ホームヘルパー、江戸川トライアスロン連合会長、フリーウェイクラブ副会長
 江戸川区議会「一人の会」幹事長

<http://www.t-ken.jp/>

「月刊田中けん」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。